

平成 29 年 12 月 22 日

横浜市長 林 文子 様

横浜市保有資産公募売却等
事業予定者選定委員会
委員長 中井 檜裕

鶴見区下野谷町土地（旧鶴見工業高等学校跡地西側）公募売却における計画内容の 変更に対する意見について

当委員会は、当委員会が審査を行った鶴見区下野谷町土地（旧鶴見工業高等学校跡地西側）公募売却に関し、事業者から横浜市に対して申し出があった計画内容の変更について、委員会としての意見を以下のようにとりまとめました。

1 変更内容について、次の理由から問題はないことを確認しました。

- ① 地域交流施設については、地域と使用目的や利用方法等を協議し、それを反映した規模としたものであり、変更後においても選定の趣旨は確保されていると認められる。
- ② 敷地北側の緑化の拡大は、当委員会の希望に沿っており、評価できるものである。
- ③ 商業施設については、出店事業者の意向を反映した業種や店舗規模となるが、変更後においても選定の趣旨は確保されていると認められる。
- ④ 建築計画については、用途の一部見送りに伴いやむを得ず 5 階フロアの設置を断念したものであると認められる。
- ⑤ その他の変更についても、選定の趣旨に特に影響するものはない。

2 本件については、次の点に留意しながら横浜市と事業者との間で事業化を進めてください。

- ① 地域交流施設について、引き続き地域と協議を進め、使いやすい施設を目指すこと。
- ② 商業施設の運営について、地域の生活環境との調和を図ること。